

YOKOROU

No.28

MAY
2022

横浜労災病院 地域医療連携広報誌



CONTENTS

当院におけるPFM推進活動について

- PFMの基礎知識
- PFM推進プロジェクトチームによる活動

【トピック】

高度医療機器更新情報

- 320列CT装置
- 心臓カテーテル装置

横浜労災病院 | 地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院 <https://www.yokohamah.johas.go.jp>

横浜労災病院の理念 — みんなでやさしい明るい医療 —

当院におけるPFM推進活動について

PFMの基礎知識

PFM (Patient Flow Management) とは、入院前に患者さんの基本情報を集めておくことで、退院への問題解決に向けて早期に着手できると同時に、病床の管理を合理的に行うことが可能となる、**入退院管理システム**のことです。

他の病院から患者さんが移られてくるときには、転院先の病院へ患者さんのこれまでの診療に関する情報が引き継がれますが、受け渡される情報は一部であり、これまでの診療に関する全ての情報が引き継がれているわけではありません。そこで、こういった入院前の情報をさらに詳細に収集することでよりよい入院体制を整えていこうという概念のもとつくられたのが「**PFM**」です。PFMが導入されることで病院には様々なメリットが生まれ、さらには地域包括ケアシステムの構築にもよい効果をもたらすことになります。

【PFMによるメリット】

PFMの最大の特徴は「**入院前に患者さんの情報を集めること**」です。患者さんの基本情報の収集ができれば、さまざまなリスクを回避することが可能になります。

例えば、PFMを導入し、紹介元の病院から患者さんのこれまでの治療方針、服薬歴、治療反応性、注意すべき所見などを収集することができた場合、入院後に注意すべき患者さんの身体的リスクを事前に把握し、対策を行うことが可能になります。

また、PFMの一環として入院前にPFMチームと患者さんやそのご家族との「面談」を設けることで、退院までの見通し、入院に関する費用などについて話をすることが可能になっていきます。こうして入院前に事前情報の収集や確認をしておくことで、入院後に起こりうる金銭的リスクや時間的リスクを事前に回避するとともに、患者さんだけでなくご家族にもしっかりとご理解いただいたうえで入院や治療を進めることができるのです。

その他にも入院前における詳細情報の収集は、社会的リスク（入院不可患者さんの入院によるトラブル）、精神的リスク（病院や治療に対する不安）などの問題発生の回避にも役立ちます。このようにPFMを導入することで、様々なリスクを事前に回避していくことに繋がるのです。

【PFMの成果】

PFMの実施によって生み出される様々な成果は、病院や地域にとって大きなメリットとなります。

①患者さんやご家族がより安心して治療・入院を受けることができる

PFMでは、入院後の見通しを立てこれから進めていく治療がしっかりと検討されるため、患者さんやそのご家族は非常に安心されます。さらに、入院中の治療方針や費用についてのトラブルの発生も予防できます。そうしたことで病院や治療に対する満足度は大きく向上します。

②病院内の医療従事者の負担が軽減される

PFMの導入は、治療をよりスムーズに進めることに繋がります。さらに入退院の流れがスムーズになるため、病床の効率的な運用にも有用です。こうしたメリットによって院内で働く医師や看護師といった医療従事者の負担が大きく抑えられ、必要な診療等により力を入れることが可能になります。

③病院経営の改善に役立つ

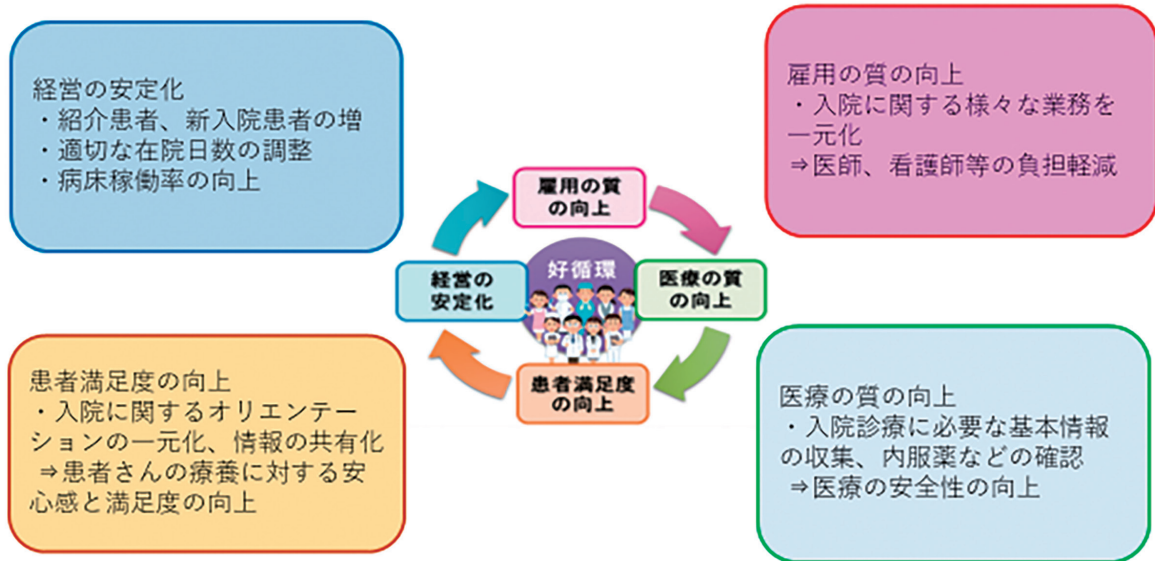
PFMによって病床を効率的に運用できることは、病院経営の改善に大きく役立ちます。またスムーズかつ適

切な診療の実施によって患者さんからの信頼を得ていくことで、より多くの患者さんが病院を利用してくれるようになります。

④地域包括ケアシステムの構築に貢献する

PFMの導入によって、病院の病床が効率的に運用され、地域における患者さんの流れも向上させることから、地域包括ケア体制の構築にもよい影響を及ぼします。PFMチームが関連病院としっかりと連携し、患者さんのよりスムーズな受け入れを実現していくことで、地域包括ケアシステムをより推進させる働きを担っていくことになります。

PFMがもたらす医療の好循環



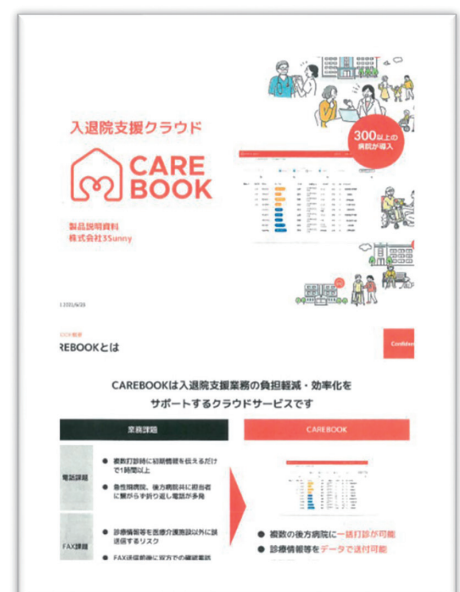
PFM推進プロジェクトチームによる活動

本プロジェクトチーム（以下PT）は、当院におけるPFMを機能的かつ効果的に実施できるよう、地域の関係機関との連携強化、患者の満足度向上、職員の業務負担軽減、病床管理体制の確立に関して、PFM業務に関わる部門による多職種協働を掲げ、組織横断的に3つのワーキンググループ（以下WG）を立ち上げ、諸問題を解決するべく活動を行ってきました。

【前方・後方連携WG（側方含む）】

前方・後方連携ワーキンググループでは、紹介元医療機関のデータ分析に基づきより効果的な広報戦略（戦術）等をたて実践に繋げるとともに、登録医療機関との連携を強化するため、登録医のメリットを充実させ、一般医との差別化を図るための取り組みを検討いたしました。

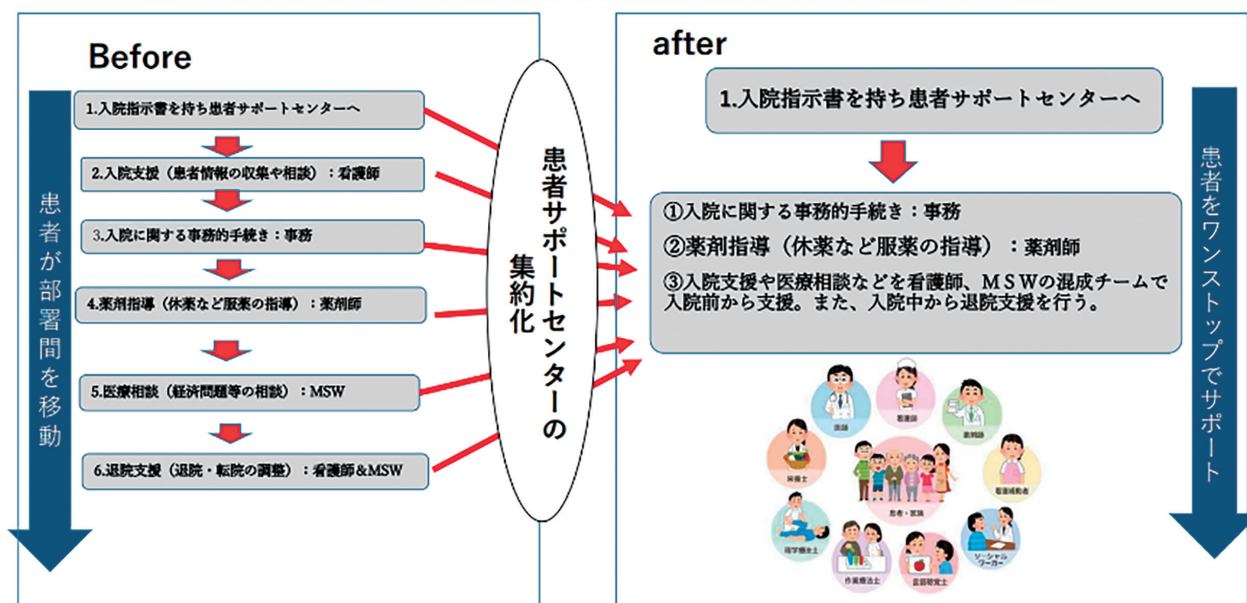
また、新たな後方連携病院を開拓し、転院受入の調整や患者情報の共有が効率的に行える転院調整支援システム「ケアブック」を導入し、転院調整が効率的に行えるようにいたしました。



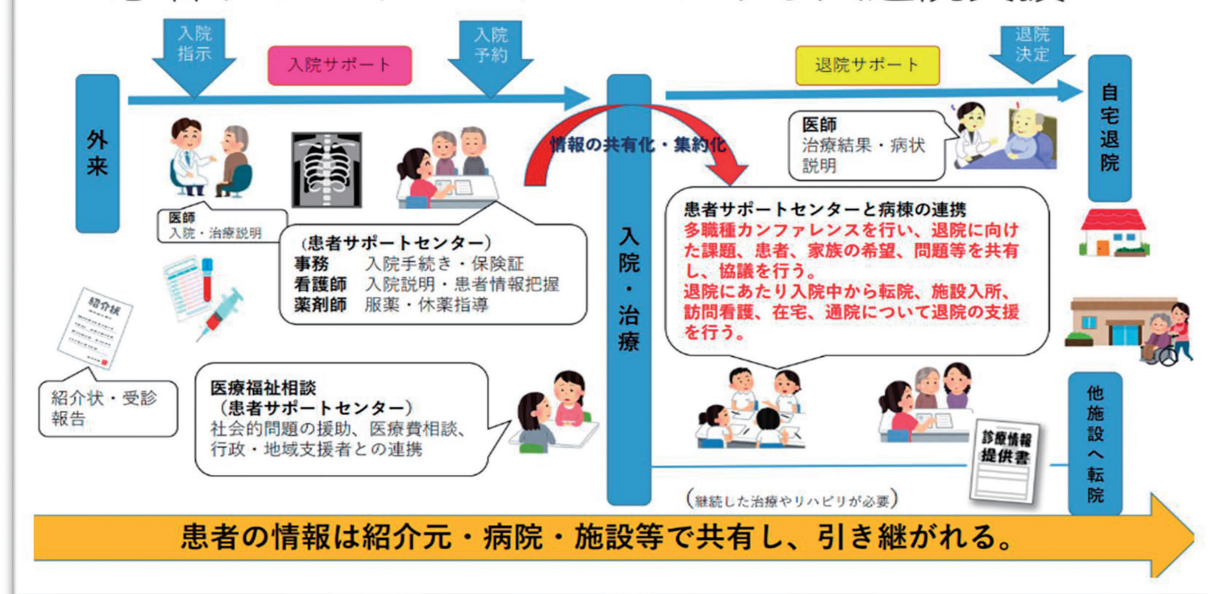
【患者支援WG】

患者支援ワーキングチームでは、入院にかかる説明や手続きについて、「患者が移動するのではなく、各担当者が移動する」をコンセプトに各種フローの見直しやレイアウト変更など入院支援に係る運用を整備いたしました。また、入院説明等に係る各種書類も見直し、1枚で患者説明が完了できるよう、書類等の改訂も行いました。

患者さんの流れを変更。
集約化により、ワンストップで患者支援を行う



患者サポートセンターにおける入退院支援



【病床管理WG】

病床管理ワーキングチームでは、当院の喫緊の課題である、新入院患者の確保、在院日数の調整、病床稼働率の向上を目的に取り組みました。

①病床管理室の設置・病床管理規程の制定

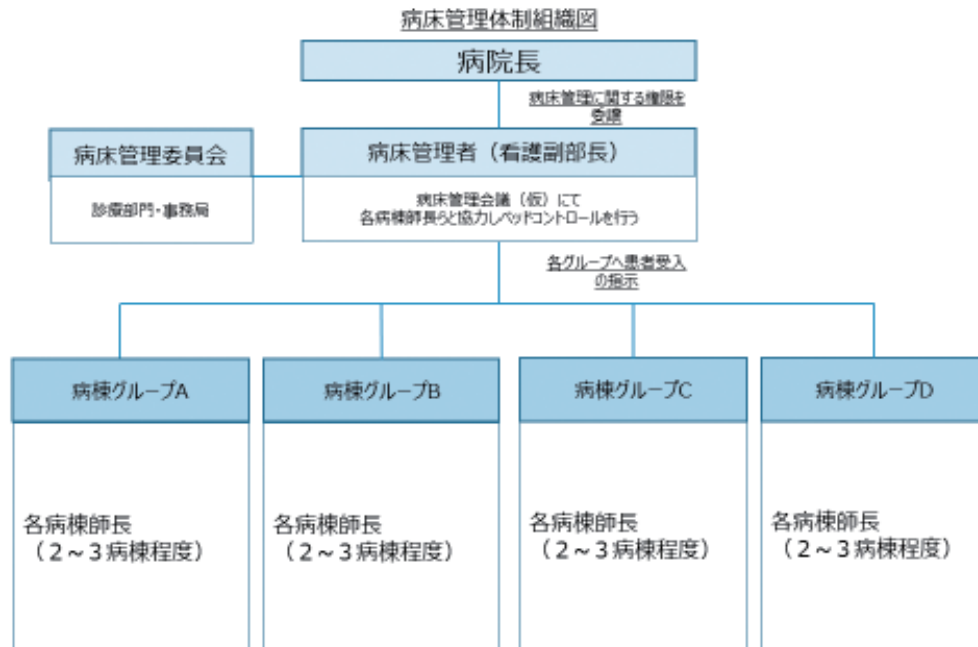
病床管理権限の一元化、権限の明文化、空床の非固定化を行いました。

②病棟編成・病棟配分

診療科別在院日数や診療科ヒアリングの内容を踏まえ、1診療科を複数病棟で対応できるよう病棟のグループ化を行いました。

③病棟再編成等に伴う指示簿の改訂・統一化

各科の指示簿における必要項目を確認し、各科共通の指示簿を作成しました。



※空床はどの診療科でも使用可能であり、柔軟に対応。グループ内での患者移動等の調整を各師長同士で行う。

【患者サポートセンターの集約化】

医事課・総合受付周辺（入院前支援）と管理棟1階（地域医療連携室、退院調整支援室、医療福祉相談）に分散していた「患者サポートセンター」と「患者サポートセンター（分室）」の機能と執務室を医事課・総合受付エリアに集約いたしました。

これによって、関連業務の集約化が図れるだけでなく、部門間で必要な情報もより迅速に共有できるようになりました。



高度医療機器更新情報

320列CT装置

AquilionONE NATURE Edition

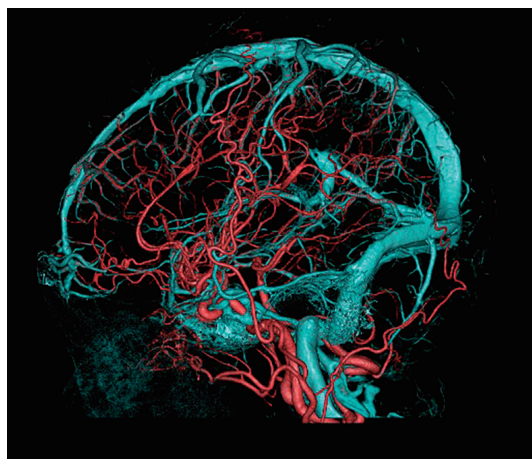


320列 Area Detector搭載

一度に16cmの撮影が可能となり脳血管、心臓冠動脈CTを短時間にて撮影することが可能となり従来と比べ患者さんの負担が軽減します。

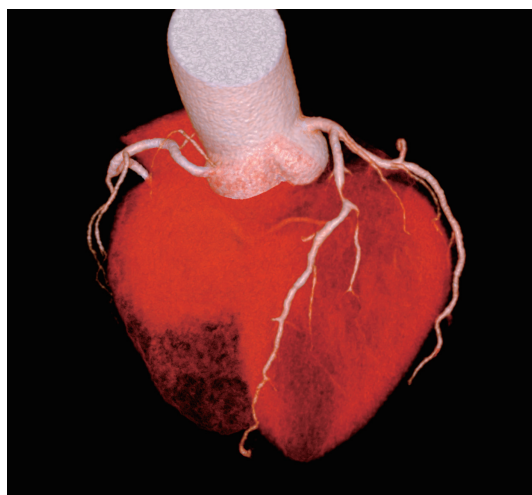
AiCE:Advanced intelligent Clear-IQ Engine

AiCEはディープラーニングを用いて画像の処理を行います。分解能を維持したままノイズを選択的に除去する先進の再構成を使用することにより被ばく線量低減が可能となりました。



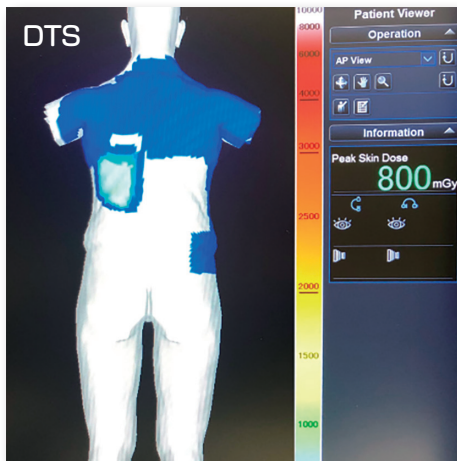
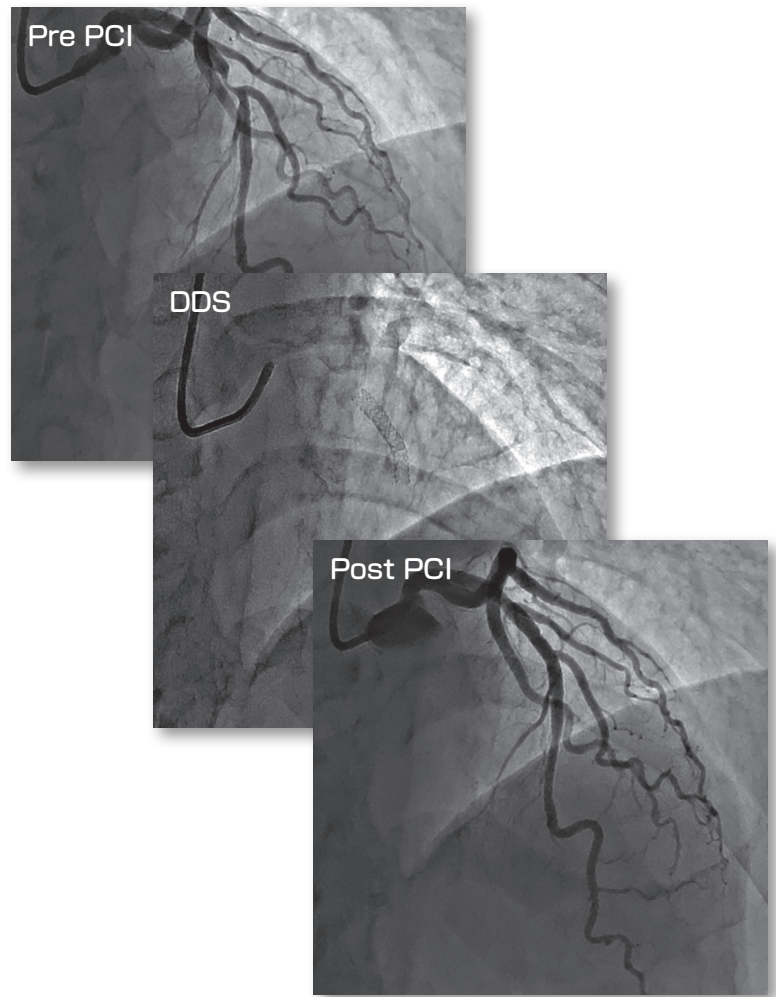
Rapid kV Switching技術

仮想単色X線画像の作成や物質弁別解析を可能とする技術です。これにより、従来のCT画像と比べ、アーチファクトの低減やコントラスト向上等の画質改善効果が得られるとともに、様々な物質の弁別や、強調表示が可能となり腎機能の悪い方に少ない造影剤で検査を行うことが可能となりました。



心臓カテーテル装置

令和3年12月に最新の心臓カテーテル装置、キャノンメディカルシステムズ社製 Alphenix Core + (シングルプレーン) を導入いたしました。当該装置は最新の画像処理プロセッサーによる高画質と Dynamic Device Stabilizer (DDS) によりステント描出能が向上しました。また、X線制御機能によるX線量の最適化により従来機種に比べ大幅な被ばく低減が可能となり、Dose Tracking System (DTS) による局所入射皮膚線量の視覚的把握ができるため、より安全に心臓カテーテル検査・治療を受けて頂くことができます。



Imaging Chain & Diagram

FPD
高感度・低ノイズを実現

グリッド
高精細画像のための最適な材質を採用

X線絞り・線質調整フィルタ
被ばくを抑え、
最適な線質を実現

X線管・制御
大容量X線管・ROI Controlを採用

デジタル接続 16 bit ●高速演算処理 ●新ノイズ低減処理 デジタル接続



横浜労災病院 登録医専用電話



医療機関からの
ご予約は



045-474-8362

受付時間

8 : 15



19 : 00

平日：月～金

※土・日・祝祭日及び年末年始を除く



患者さんが予約する場合



予約センターまで

TEL:045-474-8882

平日(月～金) 8:15～17:00

※土・日・祝祭日及び年末年始を除く